

# 情報計算化学生物学会誌

CBI 学会誌



第3巻第2号

2015年5月31日発行

## 目次

(1) CBI 学会 2015 年大会概要 .....	1
(2) CBI ジャーナル便り (2) .....	3
(3) 講演会報告・予告 .....	4
(4) 委員会報告 .....	9



# CBI学会2015年大会

情報計算化学生物学会

CBI 学会 2015 年大会の参加登録およびポスター投稿受付を開始しました！  
本号では詳細をご案内致します。多くのご参加をお待ちしております。

## 開催概要

日時：2015 年 10 月 27 日（火）－ 29 日（木）  
会場：タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）  
テーマ：「創薬のオープンイノベーション – 新領域と *in silico* の接点 – iPS 創薬・アカデミア創薬・ビッグデータ」  
大会長：堀内 正（慶應義塾大学）  
大会実行委員長：片倉 晋一（第一三共 RD ノバーレ（株））  
大会ホームページ：<http://cbi-society.org/taikai/taikai15/index.html>

## 講演

### ■ 大会長講演

堀内 正（慶應義塾大学）「アカデミア創薬とオールジャパンのオープンイノベーション」

### ■ プレナリー講演

福田 恵一（慶應義塾大学）（演題未定）  
高橋 良輔（京都大学）「iPS 細胞で神経変性疾患の臨床はどう変わるかー現状と展望ー」  
米田 悦啓（医薬基盤・健康・栄養研究所）「日本におけるアカデミア創薬～医薬基盤・健康・栄養研究所の役割～」  
山本 貴史（東京大学 TLO）「創薬における産学連携」  
北西 由武（塩野義製薬（株））「データ駆動型の医薬品研究開発を目指して（仮）」  
田中 謙（北海道大学）「ビッグデータ：ブームから挑戦へ」

### ■ 招待講演

水口 裕之（大阪大学）「ヒト iPS 細胞由来肝細胞の創薬研究への応用」  
妻木 範行（京都大学 iPS 細胞研究所）「iPS 細胞モデルによる骨系統疾患の病態解明と創薬」  
浅見 麻乃（武田薬品工業（株））「製薬企業におけるヒト iPS 細胞技術の確立と応用」  
片岡 徹（神戸大学）「*Ras* がん遺伝子産物を分子標的とした抗がん剤のインシリコ創薬」  
松本 俊二（富士通（株）未来医療開発センター）「IT 創薬の現状と新たな展開」  
奥野 恭史（京都大学）「京大発ベンチャーから生まれたスパコン創薬コンソーシアム」  
船津 公人（東京大学）「医薬品創薬から製造までのビッグデータからの知識創出基盤の確立」  
玉谷 卓也（P5（株））「ゲノム情報活用による個別化がん医療」  
鈴木 蘭美（エーザイ（株）） "Preventative Precision Medicine Through Public Private Partnership"

### ■ 市民講座『地域医療のイノベーションと ICT – 災害時にも対応できる医療情報を –』

石川 智久（NPO 法人地方再興・個別化医療支援）（演題未定）  
北岡 有喜（国立病院機構・京都医療センター医療情報部）「個人向け健康医療福祉履歴管理（PHR）サービス  
「ポケットカルテ」- 臨床研究基盤としてのこれまでの取組と今後の展開について -」  
岡崎 光洋（スマートヘルスケア協会 / 北海道大学）（演題未定）  
塚原 祐輔（（株）理研ジェネシス）「ゲノム医療とコンパニオン診断」

### ■ 科研費新学術領域「分子ロボティクス」公開シンポジウム

## ポスター発表

投稿受付開始：2015 年 5 月 7 日 (木) - 8 月 31 日 (月)

投稿募集分野：(1) 分子認識と分子計算 (2) インシリコ創薬 (3) バイオインフォマティクスとその医学応用  
(4) 医薬品研究と ADMET (5) 上記に属さない先進的研究

## 参加登録期間と参加費

登録期間：2015 年 5 月 7 日 (木) - 2015 年 10 月 16 日 (金)

区分		1.参加登録 (早期割引) (2015年9月30日まで)	2.参加登録 (当日料金) (2015年10月1日以降)
情報計算法学生物学会 (CBI学会) 会員	個人会員	12,000円	17,000円
	法人登録個人会員		
	学生会員	2,000円	5,000円
非会員	一般	20,000円	25,000円
	学生	5,000円	5,000円
講師・招待券利用者		無料	無料

## スポンサー

### ■ スポンサーセッション

(株) iPS ポータル/iPS ビジネス促進拠点 / 理化学研究所 HPCI 計算生命科学推進プログラム / (株) レベルファイブ

### ■ ランチョンセミナー

エルゼビア・ジャパン (株) / サターラ合同会社 / (株) 菱化システム / パトコア (株) / (株) ワールドフュージョン

### ■ 展示ブース

(株) ナベ インターナショナル / (株) レベルファイブ・ディスカヴァリソース (株) ・(株) 情報数理バイオ / コンプレックス (株) /  
理科研 (株) / (株) ワールドフュージョン / (株) iPS ポータル・iPS ビジネス促進拠点 / (株) 菱化システム / エルゼビア・ジャ  
パン (株) / HPC システムズ (株) / CTC ライフサイエンス (株) / (株) クロスアビリティ / エディテージ (カクタス・コミュニケー  
ションズ (株))

### ■ 広告掲載

(株) 菱化システム / 化学情報協会

## 協賛

日本生物物理学会 / 日本応用数理学会 / 日本分子生物学会 / 人工知能学会 / 日本薬理学会 / 情報処理学会 /  
日本薬物動態学会 / 日本バイオインフォマティクス学会 / 日本生化学会 / 日本安全性薬理研究会 / 日本生理学会 /

## 後援

日本毒性学会



問合わせ先

CBI 学会 2015 年大会事務局

E-mail: cbi2015@cbi-society.org



## CBI ジャーナル便り (2)

**CBI** Chem-Bio Informatics Journal  
Chem-Bio Informatics Society

### ◆◆◆ CBI ジャーナル投稿料改定のお知らせ◆◆◆

CBI ジャーナル投稿料（基本料金、ページ単価）を  
CBI 学会会員は無料にしました。



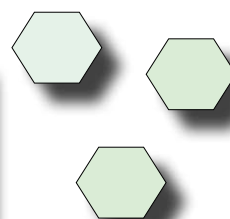
従来 CBI 学会会員の CBI ジャーナル投稿料の基本料金（20,000 円）は無料でしたが、今年度よりそれに加えて、ページ単価（2,000 円）も無料に致しました。

また、1. 分子認識と分子計算、2. インシリコ創薬、3. バイオインフォマティクスとその医学応用、4. 医薬品研究と ADMET、5. 上記に属さない先進的研究（各分野のキーワード参照：[http://cbi-society.org/cbi/journal/cbi\\_journal/aim.html](http://cbi-society.org/cbi/journal/cbi_journal/aim.html)）を分野区分として、Original、Review、および Communication を募集していましたが、他の学会誌では受理されにくい先進的で仮説的な論文の投稿を期待して、論文の種類として Mini review や Short communication を加える予定にしております。各分野からの論文投稿を宜しくお願い致します。

CBI ジャーナル編集委員会

CBI ジャーナルは J-STAGE にて論文を公開しています  
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/cbij/-char/en>

# 講演会記録



## 第 359 回 CBI 学会 講演会

### 「粗視化による生体分子系のシミュレーション」

日時：2015 年 2 月 24 日（火）13:20-18:00

場所：東京大学山上会館 2 階 大会議室（東京都文京区本郷 7-3-1）

世話人：高岡 雄司（ダッソー・システムズ・バイオピア（株））、石川 誠（日産化学工業（株））、砂田 真志（田辺三菱製薬（株））

プログラム：

- (1) 13:20-13:30 開催挨拶
- (2) 13:30-14:30 「生体分子粗視化シミュレーションの最前線：現状と課題」  
高田 彰二（京都大学）
- (3) 14:30-15:30 「蛋白質機能発現の動的エネルギーランドスケープ理論」  
笹井 理生（名古屋大学）
- (4) 15:50-16:50 「膜の粗視化分子シミュレーション」  
篠田 渉（名古屋大学）
- (5) 16:50-17:50 「粗視化分子動力学シミュレーションで探るタンパク質・リガンド結合過程」  
寺田 透（東京大学）
- (6) 17:50-18:00 まとめ

開催報告：

タンパク質の構造に基づく drug design は、コンピューターの発達や計算コストの低減に伴い、創薬において広く用いられる手法となってきましたが、依然としてタンパク質の静的な構造（X線構造やモデリング構造）を用いる場合が多く、タンパク質の動的な構造を考慮に入れた計算は、限られた範囲の揺らぎに対するごく少数のリガンドを対象としたものにとどまっています。一方、複数の原子を一つの粒子として扱う粗視化シミュレーションは、長時間の計算が可能であることから脂質膜の自己組織化やタンパク質のフォールディング問題等に対して一定の成果を収めつつありますが、精度の問題で drug design に用いられた例は聞かれません。

本講演会は、粗視化シミュレーション技術の現状について確認した上で、創薬への応用が可能かどうかを議論する目的で企画しました。

まず高田先生から粗視化シミュレーションの概要が紹介され、続いて笹井先生からはタンパク質の大きな構造変化を伴う機能の発現について、篠田先生からは脂質分子系に対する応用についてご講演頂きました。ここまでに明らかになったのは、一概に粗視化と言ってもその程度には大きな幅があり、見たい現象によって異なる関数やパラメタが用いられている事、またパラメタは対象とする系に依存しており、古典力場のような一般的なものは現時点では存在しないという事です。





タンパク質に対して良く用いられる MARTINI ポテンシャルは、4 重原子程度を一つの粒子として扱う比較的粗視化の程度が低いポテンシャルですが、最後にご講演頂いた寺田先生によれば、これだけではタンパク質の構造を維持できないそうです。それでも拘束をかけた計算によりリガンドの結合過程がシミュレーションできるというお話は、今後について希望を抱かせるものであったと思われる。リガンド低分子に対するパラメータサインの問題が残るものの、結合・解離乗数の定性的な比較が出来る可能性がある事、想定していなかった結合サイトを見つけられる可能性がある事は、創薬研究に対しても一定の貢献が期待出来る事を示唆していると考えられます。講師を含めて 86 名の参加者を得、多くの質疑が交わされた有用な研究講演会であったと感じています。

なお、本報告の文責は世話人の一人である高岡に属し、講師の先生方の意図と異なる部分がありましたらお詫び申し上げます。



高田彰二先生



笹井理生先生



篠田渉先生



寺田透先生

## 第 360 回 CBI 学会 講演会

### 「Big Data と創薬」

日時：2015 年 3 月 12 日（火）13:20-18:00

場所：東京大学山上会館 2 階 大会議室（東京都文京区本郷 7-3-1）

世話人：上村 みどり（帝人ファーマ（株））、服部 一成（塩野義製薬（株））、狩野 敦（（株）菱化システム）

プログラム：

- (1) 13:15-13:20 開催の挨拶
- (2) 13:20-14:20 「ビッグデータからシグナル発見をもたらすエコシステムについて」  
齊藤 秀（（株）OPT データサイエンスラボ）
- (3) 14:20-15:20 「遺伝統計解析を通じた疾患病態解明・ゲノム創薬への展望」  
岡田 随象（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）
- (4) 15:40-16:40 「生命科学におけるデータマイニング」  
津田 宏治（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
- (5) 16:40-17:40 「Big data から Any data へのパラダイムシフト」  
都地 昭夫、北西 由武（塩野義製薬（株））
- (6) 17:40-17:55 総合討論

開催報告：

生命科学・医療現場におけるビッグデータの創薬研究への応用が広がりつつあり、創薬現場においても、データ仮説型からビッグデータを活用したデータ駆動型の研究が模索されています。今回の研究講演会では、創薬研究におけるビッグデータ解析において、第一線で活躍されている先生方に講演頂き、企業の方を中心に 110 名の方が参加されました。

齊藤先生には、生命科学領域に限らずビッグデータにおけるオープンイノベーションの事例を多数紹介頂きなが



ら、ビッグデータ解析における属人性やデータ分析リソースにおける問題解決とビッグデータ活用における方向性を示して頂きました。岡田先生には、大規模なヒトゲノム解析データを取り扱う遺伝統計学が新たな疾患病態の解明に有用であり、創薬研究におけるパラダイムシフトの可能性があることについて分かり易く説明して頂きました。津田先生には、超高速かつ高い精度で誤発見の確率を示す検定値（P 値）を計算する無限次数多重検定法（LAMP 法）を利用して、多様なビッグデータの爆発的な組合せからデータマイニングによって統計的に有意な仮説を選び出す手法について解説して頂きました。都地先生と北西先生には、多数のビッグデータ活用事例を交えながら製薬企業内におけるビッグデータ解析並列演算処理システムの構築や多様な専門家チームによるビッグデータ活用の取り組みについて紹介して頂きました。

講師の先生方には、ビッグデータ活用における課題と今後の展望について様々な観点から論じて頂き、会場からも多様な質問やコメントが寄せられ、有意義な研究会を開催することができました。



齊藤秀先生



岡田随象先生



津田宏治先生



北西由武先生



都地昭夫先生

## 第 361 回 CBI 学会 講演会

### 「臨床情報の創薬 R & D における活用～情報の集積・統合・解析～」

日時：2015 年 4 月 24 日（金）13:00-17:10

場所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 北館タワー C 7 階 大阪イノベーションハブ  
（大阪市北区大深町 3-1）

共催：大阪イノベーションハブ、（公財）都市活力研究所、NPO 法人バイオグリッドセンター関西

世話人：山崎 一人（大日本住友製薬（株））、坂田 恒昭（大阪大学）、森 浩禎（奈良科学技術先端大学）

プログラム：

- (1) 13:00-13:05 開催の挨拶
- (2) 13:05-13:15 大阪イノベーションハブより
- (3) 13:15-13:40 「臨床情報の創薬応用における課題」  
市川 治（大日本住友製薬（株）・ゲノム科学研究所）
- (4) 13:40-14:20 「米国における臨床情報集積システム」  
新谷 歩（大阪大学・医学系研究科）



- (5) 14:20-15:00 「ゲノムコホート情報の集積」  
松田 文彦 (京都大学・医学研究科)
- (6) 15:20-15:50 「疾患コンパス - 疾患オントロジーと Linked Data 技術に基づく疾患知識のナビゲーション -」  
古崎 晃司 (大阪大学・産業科学研究所)
- (7) 15:50-16:20 「データウェアハウスによる創薬関連データ統合と解析の実際」  
水口 賢司 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)
- (8) 16:20-16:50 "Improving R&D Outcomes / Extracting Actionable Information"  
Mark van Mierle (Managing Director, Life Science Solutions, Elsevier)
- (9) 16:50-17:10 総合討論

## 開催報告：

電子カルテ情報、コホート情報、上市薬物の副作用情報といった各種の臨床情報を、創薬シーズ探索、トランスレーショナル研究、バイオマーカー同定など、創薬 R&D に活用する機運は益々高まっている。しかしながら、その活には、各情報ソースが個別に集積されるだけでは不十分であり、集積された各情報を統合することが不可欠と言える。こうした背景から、情報の集積と統合に精力的に取り組まれている先生方にご登壇頂き、臨床情報を創薬 R&D に活用するプロセスを俯瞰することで、共通に解決すべき課題を議論する機会として本会を開催した。



最初の演者である市川博士からは、創薬の現場において集積・統合・解析という一連のプロセスを進める中で、利用可能な情報ソースの不足、並びに質の高い統合オントロジーの必要性という 2 つの課題が浮かび上がったこととお話頂いた。

次いで、臨床情報の集積を精力的に進められている新谷先生と松田先生にご講演を頂いた。新谷先生からは、米国にて運用されている臨床データ集積管理システム REDCap 並びに集積されたデータから後ろ向きコホートを可能とするシステム Record Counter についてご紹介頂いた。また、松田先生からは、2007 年に 4 期 20 年の計画に基づき開始した「ながはま 0 次予防コホート」について、第 1 期における 1 万人のデータから得られた研究成果に加え、第 2 期のフォローアップから得られる時系列データのもつ可能性についてお話頂いた。後半のセッションは、データの統合について 3 名の先生方にご講演を頂いた。古崎先生からは、臨床医の知識をマニュアルで体系化した従来型のオントロジー構築と、Linked Data 技術に基づく関連情報の機械的な統合を組み合わせた疾患コンパスについてご紹介頂いた。また、水口先生からは、各種の創薬関連データの統合を実現するデータウェアハウス TargetMine についてご紹介頂いた。さらに、Mierle 氏からは、統合された膨大な学術情報が、創薬 R&D の加速並びに成功確度向上に如何に有用であるかをご講演頂いた。

最後の総合討論では、「日本における臨床情報集積の加速に必要なこと」、また「臨床情報を集積する立場から企業研究者に期待すること」について、講師の先生方から示唆に富むご意見を頂いた。

講演会には製薬企業を中心に 100 名弱のご参加を頂き、終了後には、講演会場並びに懇親会場にて講師と参加者による交流が活発に行われた。



市川治先生

新谷歩先生

松田文彦先生

古崎晃司先生

水口賢司先生

Mark van Mierle 先生

## 今後の講演会 予定

### 第 363 回 CBI 学会講演会

#### 「薬物相互作用の予測 ; Beyond DDI guideline」

日時 : 2015 年 6 月 11 日 (木) 10:30-17:45

場所 : 東京大学 山上会館 大会議室 (東京都文京区本郷 7-3-1)

世話人 : 杉山 雄一 (理化学研究所)、前田 和哉 (東京大学大学院薬学系研究科)

### 第 364 回 CBI 学会講演会

#### 「タンパク質立体構造予測とタンパク質デザイン」

日時 : 2015 年 6 月 22 日 (月) 13:10-18:00

場所 : 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター 1 階国際会議室 (東京都港区芝浦 3-3-6)

世話人 : 小田 晃司 (大正製薬 (株))、高土居 雅法 (杏林製薬 (株))、田上 宇乃 (味の素 (株))、  
松本 俊二 (富士通 (株))

### 第 365 回 CBI 学会講演会

#### 「フェノタイプスクリーニング 古くて新しい創薬手法 Part2」

日時 : 2015 年 7 月 9 日 (木) 13:20-17:50

場所 : 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター 1 階国際会議室 (東京都港区芝浦 3-3-6)

世話人 : 相良 武 (大鵬薬品工業 (株))、新美 達也 (アステラス製薬 (株))、片倉 晋一 (第一三共 RD ノバーレ (株))



# 委員会報告

## 【創薬研究会運営委員会】

### 第 16 回創薬研究会運営委員会

日時：2015 年 3 月 12 日（木）10:00-12:00

場所：東京大学山上会館 会議室 001（東京都文京区本郷 7-3-1）

出席者（敬称略）：大元 和之（小野薬品工業）、小田 晃司（大正製薬）、片倉 晋一（第一三共 RD ノバーレ）、狩野 敦（菱化システム）、上村 みどり（帝人ファーマ）、相良 武（大鵬薬品工業）、嶋根 みゆき（中外製薬）、高土居 雅法（杏林製薬）、田上 宇乃（味の素）、多田 幸雄（東京大学）、谷村 直樹（みずほ情報総研）、中嶋 久士（興和）、服部 一成（塩野義製薬）、緑川 淳（ワールドフュージョン）、小澤 陽子（事務局）、塩塚 真理（事務局）

欠席者（敬称略）：石川 誠（日産化学工業）、江口 晃史（CTCLS）、岡部 隆義（東京大学）、小長谷 明彦（東京工業大学）、砂田 真志（田辺三菱製薬）、佐藤 貴哉（カモソフトウェアジャパン）、高岡 雄司（ダッソー・システムズ・バイオピア）、田中 博（東京医科歯科大学）、谷村 隆次（東レ）、新美 達也（アステラス製薬）、本間 光貴（理研）、松本 俊二（富士通）、水間 俊（松山大学）

議題：(1) 2015 年大会の進捗報告（資料1） 片倉主査  
(2) 創薬研究会法人会員入退会の報告  
(3) 各講演会の企画進捗状況報告（資料2）  
(4) グループ討議

資料：(1) 2015 年大会について  
(2) 講演会予定一覧  
(3) アカデミアと CBI 法人企業とのマッチングリスト



## 【関西部会】

### 第 7 回関西部会運営委員会

日時：2015 年 4 月 24 日（金）10:00-12:00

場所：(財) 都市活力研究所 セミナールーム（大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワー C 7F）

出席者（敬称略）：小長谷 明彦（東工大）、木下 誉富（大阪府立大）、塩田 武司（塩野義製薬）、六嶋 正知（塩野義製薬）、山崎 一人（大日本住友製薬）、早乙女 周子（京都大）、志水 隆一（都市活力研究所）、田中 成典（関西部会長、神戸大）、牛尾（書記、神戸大）、中嶋 久士（興和；オブザーバー出席）

欠席者（敬称略）：正城 敏博（大阪大）、鶴田 宏樹（神戸大）、奥野 恭史（京都大）、田口 隆久（産業技術総合研究所）、水口 賢司（医薬基盤・健康・栄養研究所）、森 一郎（神戸大）、森 浩禎（奈良先端大）、坂田 恒昭（関西副部会長、大阪大、塩野義製薬）

議題：(1) イノベーションハブ（OIH）を利用する場合の参加者のメールアドレスの取り扱いについて  
(2) CBI 学会誌への今回の関西 CBI 研究講演会の報告の掲載（山崎委員）  
(3) 次回（2015 年 11 月頃）CBI 学会関西部会講演会（世話人：森浩禎委員）について  
(4) 次々回（2016 年 4 月頃）CBI 学会関西部会講演会の企画について  
(5) 今後の企画・運営、その他

## 【2015 年大会 プログラム委員会】

### 第 2 回 2015 年大会プログラム委員会

日時：2015 年 3 月 31 日 (火) 15:00-17:00

場所：東京工業大学 田町 CIC 501 号室 (東京都港区芝浦 3-3-6)

出席 (敬称略、分野順)：本間 光貴 (理化学研究所)、片倉 晋一 (第一三共 RD ノバーレ)、石川 岳志 (長崎大学、スカイブ)、多田 幸雄 (東京大学)、平山 令明 (東海大学)、高岡 雄司 (ダッソー・システムズ・バイオピア)、広川 貴次 (産業技術総合研究所)、福澤 薫 (日本大学)、荻島 創一 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構、スカイブ)、茂柳 薫 (順天堂大学)、水口 賢司 (医薬基盤研究所)、関嶋 政和 (東京工業大学)、水間 俊 (松山大学、スカイブ)、石川 智久 (NPO 法人地方再興・個別化医療支援)、湯田 浩太郎 (インシリコデータ)、小長谷 明彦 (東京工業大学)、石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所)、多田 隈 尚史 (京都大学)、塚田 優子 (事務局)、小宮山 直美 (事務局)

欠席 (敬称略、分野順)：森 寛敏 (お茶の水女子大学)

議題：(1) 各分野のフォーカストセッション企画説明  
(2) フォーカストセッションの日程・時間枠の配分について  
(3) フォーカストセッションの一般公募について  
(4) プログラム委員企画の今後の進め方について  
(5) ポスター投稿のプロモーションについて  
(6) その他  
(7) 次回プログラム委員会予定に

資料：(1) 大会プログラム枠

(2) 各分野のフォーカストセッション企画リスト



## 【執行部会】

### 第 22 回執行部会

日時：2015 年 4 月 27 日 (月) 18:00-20:00

場所：東京工業大学 田町 CIC 506 号室 (東京都港区芝浦 3-3-6)

出席者 (敬称略)：岡部 隆義 (東京大学創薬機構)、河合 隆利 (エーザイ)、小長谷 明彦 (東京工業大学)、多田 幸雄 (東京工業大学)、高岡 雄司 (ダッソー・システムズ・バイオピア)、田中 成典 (神戸大学・スカイブ)、本間 光貴 (理化学研究所)、小澤 陽子 (事務局)

欠席者 (敬称略)：石川 智久 (NPO 法人地方再興・個別化医療支援)、片倉 晋一 (第一三共 RD ノバーレ)、福澤 薫 (日本大学)、田中 博 (東京医科歯科大学)、水間 俊 (松山大学)

議題：(1) 2015 年度大会進捗  
(2) 大会ポスター発表者のビザ申請書類作成について  
(3) 市民講座の江戸川区への後援 (協賛) 依頼について  
(4) 8 月の計算毒性学研究会開催について  
(5) 関西 AI 創薬研究会の設立の方向性について  
(6) CBI 講演会、研究会進捗について  
(7) CBI Journal

資料：(1) 2015 年大会講師謝金等一覧

(2) 2015 年大会企業展申し込み状況 (4 月 23 日現在)

(3) CBI2015 年大会 第 3 回拡大実行委員会議事録

(4) CBI2015 年大会 第 2 回プログラム委員会議事録

(5) CBI2015 年大会 プログラム枠 (第 2 回プログラム委員会資料)

(6) CBI2015 年大会 フォーカストセッション企画リスト (第 2 回プログラム委員会資料 更新版)

- (7) 大会ポスター発表者のピザ申請書類作成について・書式 3 点
- (8) 市民講座の江戸川区への後援(協賛) 依頼について進捗報告
- (9) CBI 講演会・研究会予定

## 【特定非営利活動法人情報計算化学生物学会理事会】

### 第 6 回特定非営利活動法人情報計算化学生物学会理事会

日時: 2015 年 3 月 3 日 (火) 16:10-17:00

場所: 東京工業大学 田町 CIC 506 号室 (東京都港区芝浦 3-3-6)

出席者(敬称略): 小長谷 明彦、岡部 隆義、片倉 晋一、多田 幸雄、本間 光貴

電磁的方法による表決者: 石川 智久、河合 隆利、田中 博

(理事総数 10 名 出席者数 5 名)

欠席者(敬称略): 水間 俊、望月 祐志

議長: 小長谷 明彦

議事録署名人: 多田 幸雄、堀内 正

審議事項: (1) 理事の資格要件について

(2) 新年度の理事就任について

### 第 7 回特定非営利活動法人情報計算化学生物学会理事会

日時: 2015 年 3 月 31 日 (火) 17:40-18:00

場所: 東京工業大学 田町 CIC 506 号室 (東京都港区芝浦 3-3-6)

出席者(敬称略): 小長谷 明彦、多田 幸雄、片倉 晋一、岡部 隆義、河合 隆利、田中 博、石川 智久、本間 光貴、水間 俊

(理事総数 10 名 出席者数 9 名)

審議事項: 理事の変更に関する件

### 第 8 回特定非営利活動法人情報計算化学生物学会理事会

日時: 2015 年 4 月 1 日 (水) 17:40-18:00

電磁的方法による開催

電磁的方法による表決者(敬称略): 岡部 隆義、片倉 晋一、河合 隆利、田中 博、本間 光貴、水間 俊

審議事項: 理事長選任に関する件

## 【総会】

### 第 6 回特定非営利活動法人情報計算化学生物学会総会

日時: 2015 年 3 月 31 日 (火) 17:00-17:40

場所: 東京工業大学 田町 CIC 506 号室 (東京都港区芝浦 3-3-6)

出席者数等 出席者 10 名、正会員総数 12 名

審議事項: 第 1 号議案 2014 年度活動報告

第 2 号議案 2014 年度決算報告・監査報告

第 3 号議案 2015 年度活動計画

第 4 号議案 2015 年度予算

第 5 号議案 2015 年度役員名簿の報告



---

## CBI 学会誌 第 3 卷 第 2 号

2015 年 5 月 31 日 発刊

制作責任：小長谷 明彦

制作：小澤 陽子 塚田 優子 高橋 まき 町田 規子

湯川 真澄 塩塚 真理 小宮山 直美

発行：CBI 学会

本著作物の著作権は著者にあり、CBI 学会は、本著作物に関する  
冊子および電子媒体による複製、配布、改変、再出版の権利を持つ。

